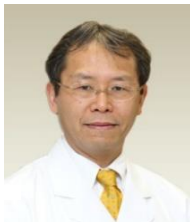


日本の高齢化率（65歳以上の高齢者人口の総人口に占める割合）は、令和元年9月の推計値で28%を超えました。4人に1人が高齢者という超高齢社会に加えて、多くの疾患を保有し虚弱な人が占める割合が多くなる75歳以上の後期高齢者人口は、65歳から74歳の前期高齢者人口を超える時代となりました。このような社会状況で、とくに目にするようになってきたのが摂食嚥下の問題です。後期高齢者や脳血管疾患の既往のある方では、摂食嚥下に問題がある場合も多く、歯科における対応が必要な場面も増えてきました。誤嚥性肺炎の防止や低栄養等の予防、食べる楽しみ・話す楽しみを維持するための歯科医療の役割が大きくなってきました。

今回の生涯研修プログラムでは、高齢者に頻発する嚥下障害の評価とリハビリについて、それぞれ内科と歯科のエキスパートが実際の症例への対応を含めながら解説いたします。この機会を、皆さんの知識の充実にお役立てください。



高齢者歯科学分野  
教授 内藤 徹

【主な経歴】

1986年に九州歯科大学を卒業。同大学院を修了後、米国・Temple大学医学部研究員、米国・Fox Chase Cancer Center研究員として留学。1995年より九州歯科大学助手、同学講師を経て、福岡歯科大学講師、同准教授となり、2013年から現在の高齢者歯科学分野教授に就任、現在に至る。

【主な資格】

日本老年歯科医学会専門医、指導医  
日本歯科心身医学会指導医  
日本歯周病学会歯周病専門医



耳鼻咽喉科学分野  
教授 山野 貴史

【主な経歴】

1995年 福岡大学医学部を卒業、同年 福岡大学医学部耳鼻咽喉科入局。2001年10月国立病院九州がんセンター厚生技官に就任し、2003年8月より西オーストラリア大学生理学教室へ留学。帰国後2010年より福岡大学耳鼻咽喉科講師、2011年福岡大学筑紫病院講師を経て2014年4月福岡歯科大学総合医学講座耳鼻咽喉科学分野講師に就任、2016年7月より現職、2019年10月に摂食嚥下・言語センター（ことばと飲み込みのケアセンター）センター長に就任、現在に至る。

【主な資格】

日本耳鼻咽喉科学会専門医、補聴器相談医、日本嚥下医学会嚥下相談医、日本音声言語認定医

講義内容

日時	内容	講師
8月6日 (日) 10:00 13:00	<p><b>誤嚥のメカニズムと嚥下評価</b> 嚥下のメカニズムを知り、嚥下障害が発生する機序を解説いたします。また、嚥下機能の評価について、チェアサイドでできる簡便なスクリーニングの実習や嚥下内視鏡や嚥下造影について専門医がわかりやすく解説します。</p> <p><b>外来でできる嚥下リハビリテーション</b> 嚥下障害のある患者さんに対する主な間接訓練（食物を使用しない訓練法）の解説と簡単な実習を行います。また、直接訓練（食物を使用する訓練法）と段階的な摂食訓練などについての解説を行います。</p>	内藤 徹 山野 貴史 大森 史隆

※プログラムの内容や日程は変更になることがあります。

変更に伴う新たな日程につきましてはお申込者宛てにご連絡するとともに、福岡歯科大学ホームページに掲載します。

日時 場所

2023年8月6日（日）10:00～13:00  
福岡歯科大学医科歯科総合病院 病院3階学生診療室  
〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1  
TEL：092-801-0425 FAX：092-801-4909

定員

15名

※ 申込み締切 2023年7月31日（月）先着順となります。お早目にお申し込みください。

講習費

25,000円(同窓生：20,000円)

主催

福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 地域連携センター  
福岡歯科大学歯科医師卒後研修委員会

問合せ先

福岡歯科大学歯科医師卒後研修委員会事務局 教育研究支援課 安藤  
TEL：092-801-0425 FAX：092-801-4909  
e-mail：shomu@fdonet.ac.jp

QRコードからお申込みできます。



福岡歯科大学 生涯研修プログラム 参加申込書(お申込み FAX先：092-801-4909)			
研修コース：摂食嚥下リハビリテーションに役立つ知識	講習費	25,000円(同窓生：20,000円)	
(ふりがな)			
ご氏名		勤務先	
郵便番号		ご住所	
TEL		FAX	Email